

# 第11回プロセス化学ラウンジ 実施報告

将来計画委員会 2017/3/13  
第一三共 道田



- 14:55～15:40 ニューロペプチドY, Y5 受容体アンタゴニスト  
S-2367 (Velnepirit) の効率的製造法開発  
尾田 真一 氏 (塩野義製薬)  
座長：原 敦治 (和光純薬)
- 15:45～16:30 新企画 懇親会での話題提供 (ショートプレゼンテーション)  
道田 (第一三共)、福原 (田辺三菱)、井町 (大正製薬)  
市川 (岐阜薬大)、南 (ジョンソン・マッセイ)  
イリエシュ (東大)、田辺 (関学大) (敬称略)  
座長：道田 誠 (第一三共)
- 16:30～16:40 事務連絡、部屋割り、予定説明等
- 16:40～18:00 入浴、休憩
- 18:00～20:00 夕食
- 20:00～ 懇親会 (情報交換会)

## プログラム (2日目)

- 08:00～ 朝食  
09:00 解散

# 新企画：懇親会での話題提供（ショートプレゼン）

## 本企画の目的

ラウンジの懇親会にて、参加者が情報交換・人的交流を効果的にできるようなサポート情報を提供する

## 実施方法

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| ①興味があるトピックを事前に収集        | （世話人がアンケート実施）             |
| ②頂いたアンケートを元にトピックを選択     | （世話人が集計、当日の発表者選定、直接依頼）    |
| ③当日ショートプレゼンテーションの形式でご紹介 | （選定した参加者が発表（7人））          |
| ④懇親会にて各トピックでグループごとに情報交換 | （世話人があらかじめアンケートを元にグループ分け） |

## ショートプレゼン

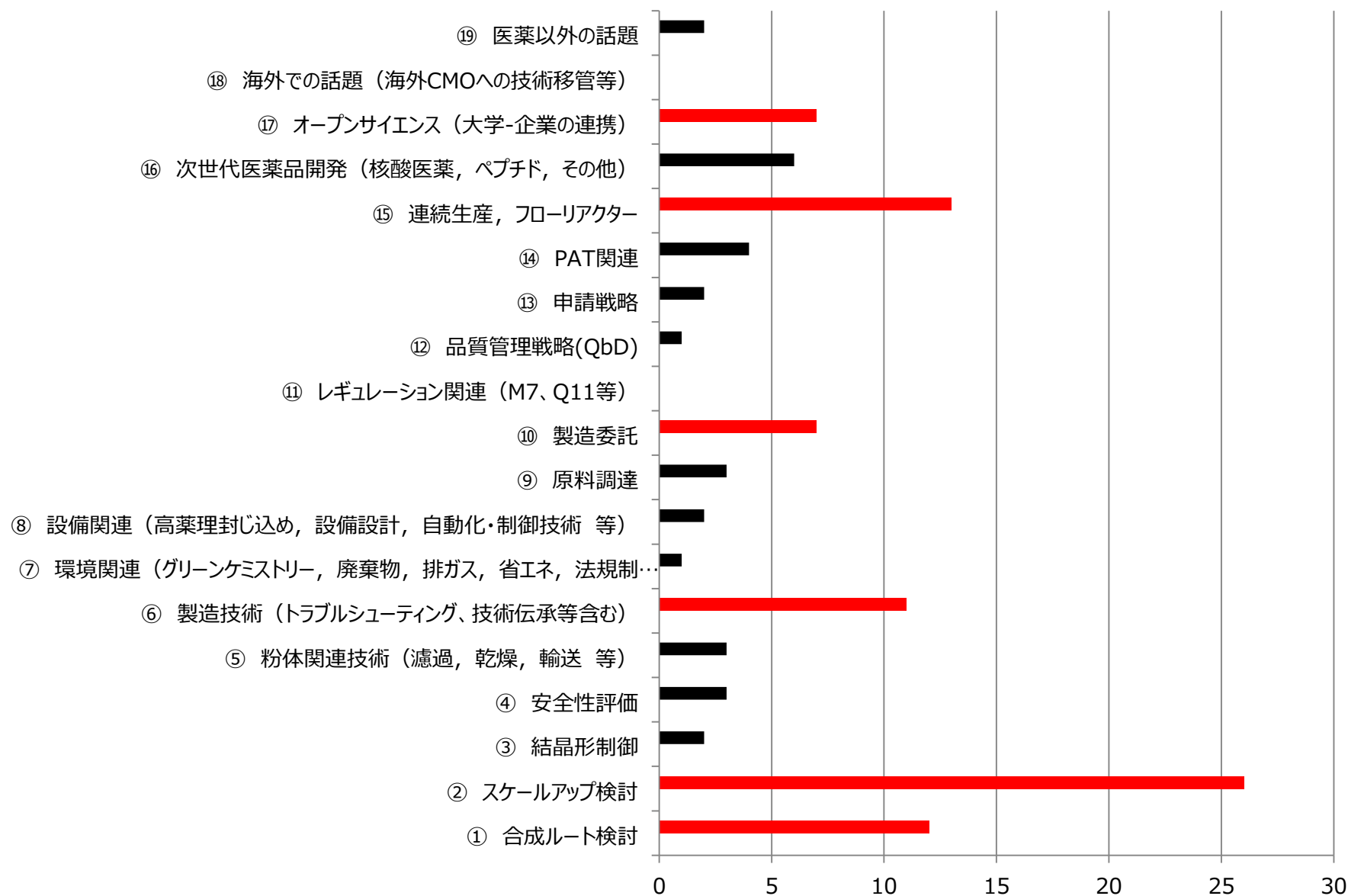
内容
フローリアクター
合成ルート
レギュレーション
スケールアップ
製造委託
オープンサイエンス

発表1-2分、質疑3-5分

情報交換（夕食の時に実施）

6-7人、6グループ  
（アンケートに基づき振り分け）

# 事前アンケート結果（参加登録時にあわせて依頼）



# 事後アンケートについて

目的： 今回のラウンジ（講演，新たな試み（ショートプレゼン））  
に関して参加者の意見を伺い，今後の運営に活かす

方法： 世話人から全員に依頼

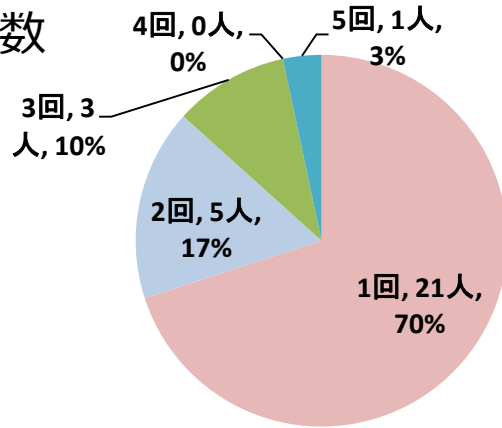
募集期間： 2016.12.16 ~ 2016.12.31

対象者： 参加者全員（38名）但し世話人は参考

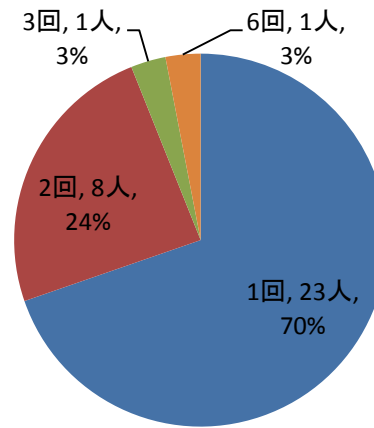
回答数： 33名 （回答率87%） 参考：昨年68%

# 参加者について

## 参加回数



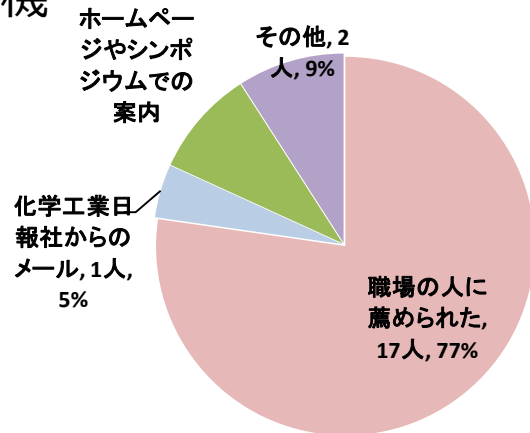
前回



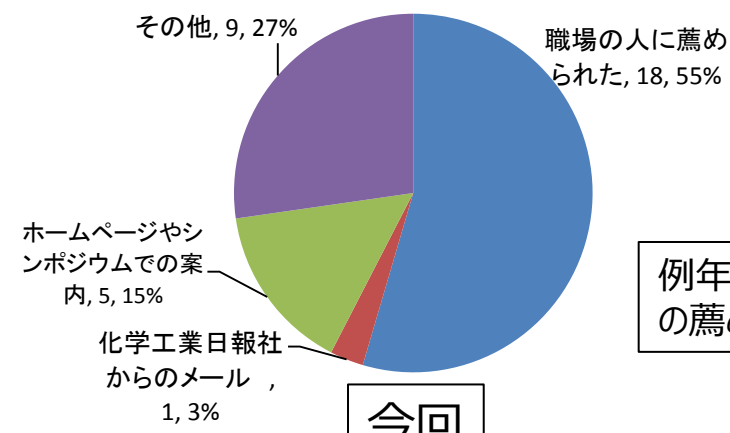
今回

ほぼ同じ分布

## 参加動機



前回

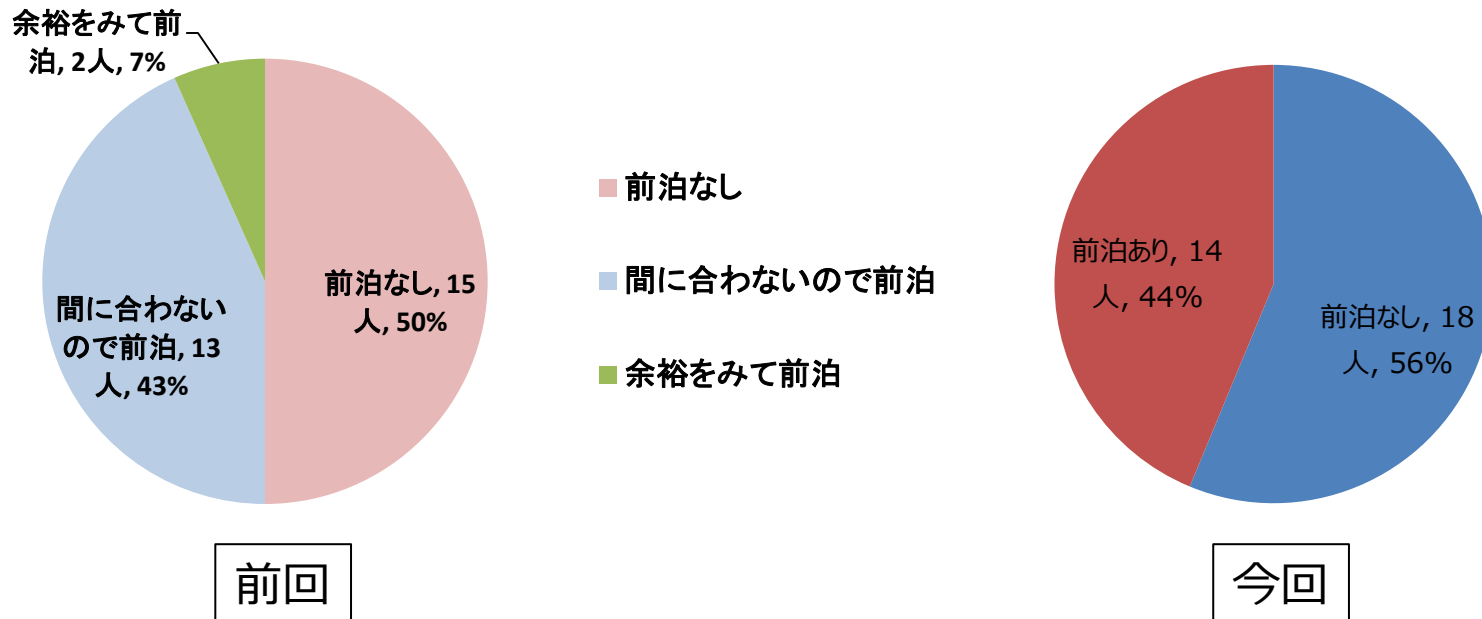


今回

例年通り職場の人の薦めが多数

「その他」の内訳  
 ・将来計画委員メンバー、講演者のため  
 ・進路を考える上で実務的な情報を仕入れたかった

# 前泊の有無について

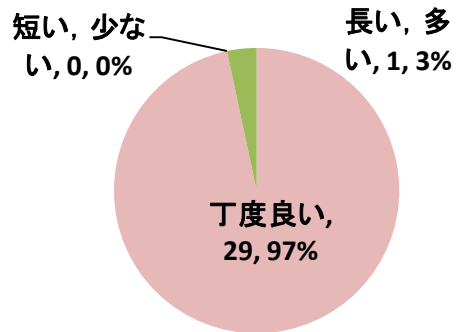


半分の方が前泊していた。



# 講演時間について

## 講演時間(35分程度)

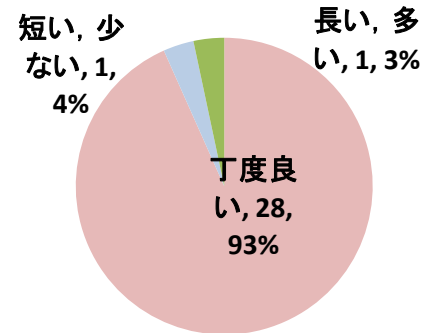


前回

丁度良い  
100%

今回

## 演題数(6演題)



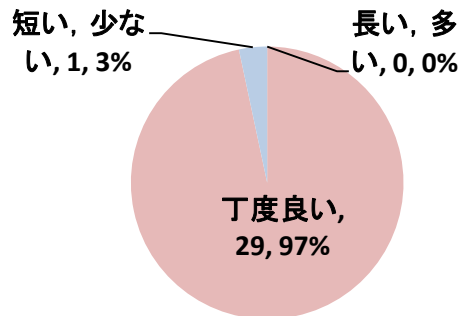
前回

## 演題数(5演題)

丁度良い97%  
短い 3%

今回

## 質疑時間(10分程度)



前回

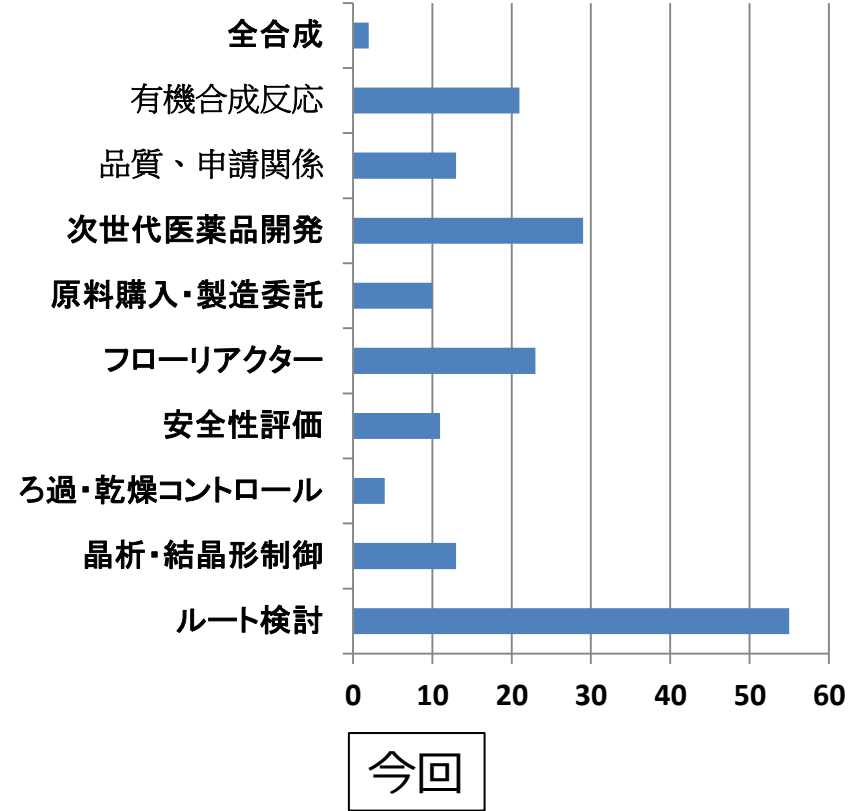
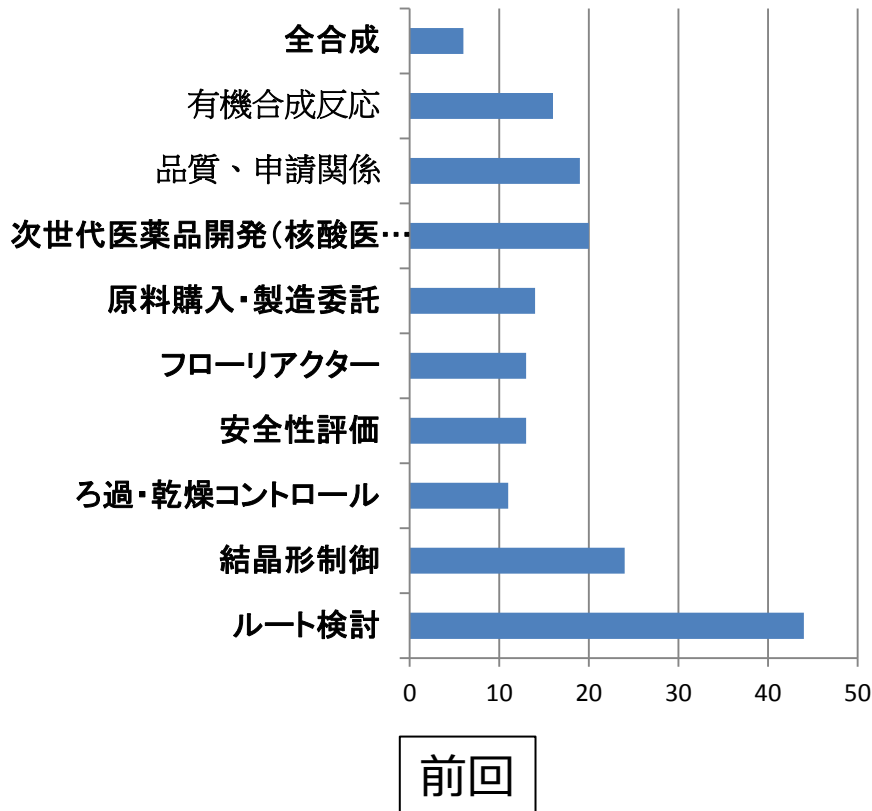
丁度良い97%  
短い 3%

今回

これまでの運営で特に問題は無い

# 希望講演内容について

希望の講演内容を以下の中から3つを順位付け（3,2,1点）し、集計した



傾向は大きく変わってはいない。

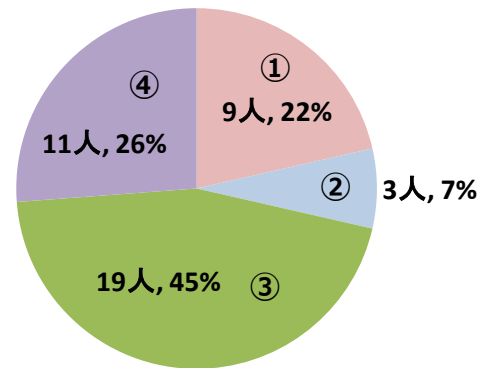
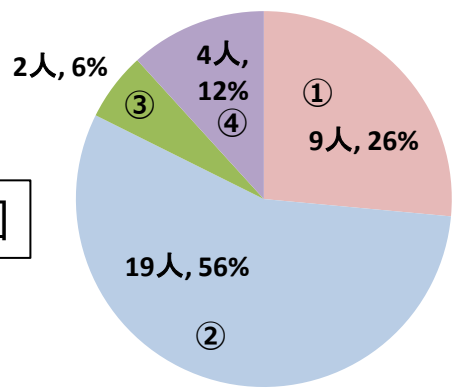
今回は、プロセス研究3件、フロー化学1件、全合成1件  
+ ショートプレゼンで多くのトピックを取り上げた。

# 開催プランについて

希望プラン

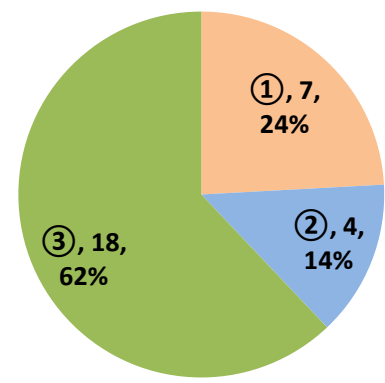
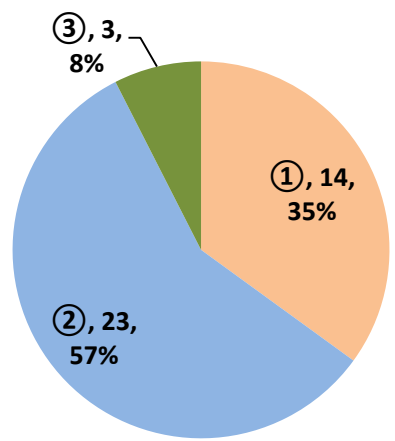
あきらめるか躊躇するプラン

前回



- ①木曜13時開始→金曜12時終了(過去のスケジュール)
- ②金曜10時開始→土曜朝イチ終了(今回スケジュール)
- ③月曜～木曜のいずれかの10時開始→翌日の朝イチ終了
- ④無回答(なし)

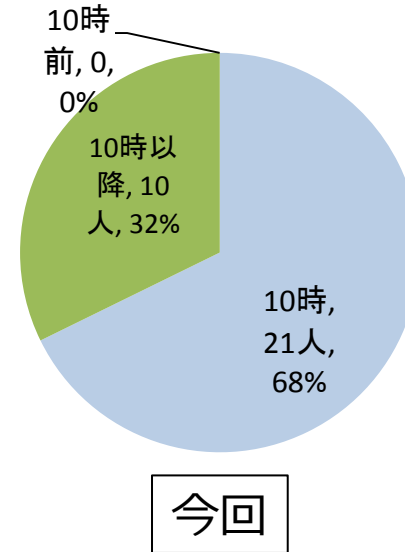
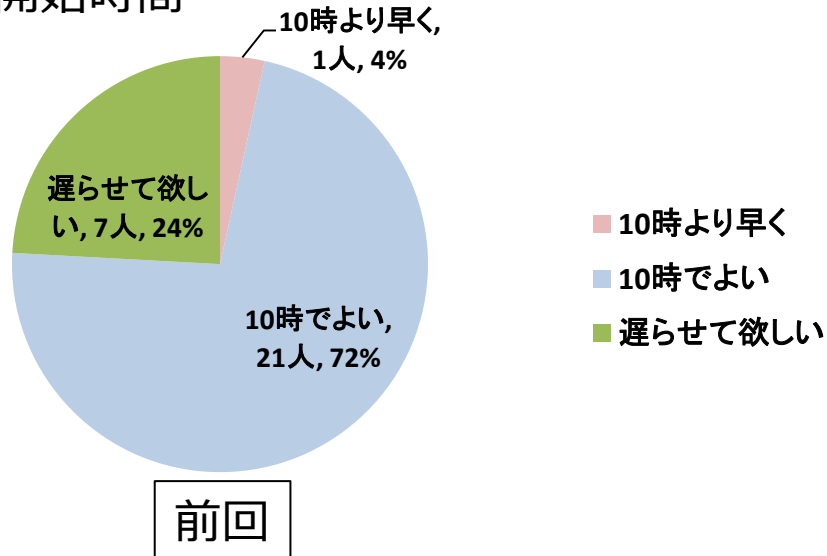
今回



・過半数の方が今回スケジュールを希望。  
過去のスケジュール（木曜午後～金曜午前）も、4分の1の方が希望（例年のアンケートと同様の結果）

# 開始時間について

## 開始時間



4分の3の方は今回のスケジュールを希望。  
一方、「開始を遅らせて欲しい」「2日目も何か実施して欲しい」の方も4分の1程度存在。

## 朝解散がよい理由

- ・土曜朝一解散が、前日夜に時間を気にせず情報交換ができる。
- ・講演者も楽。

# 2日目について

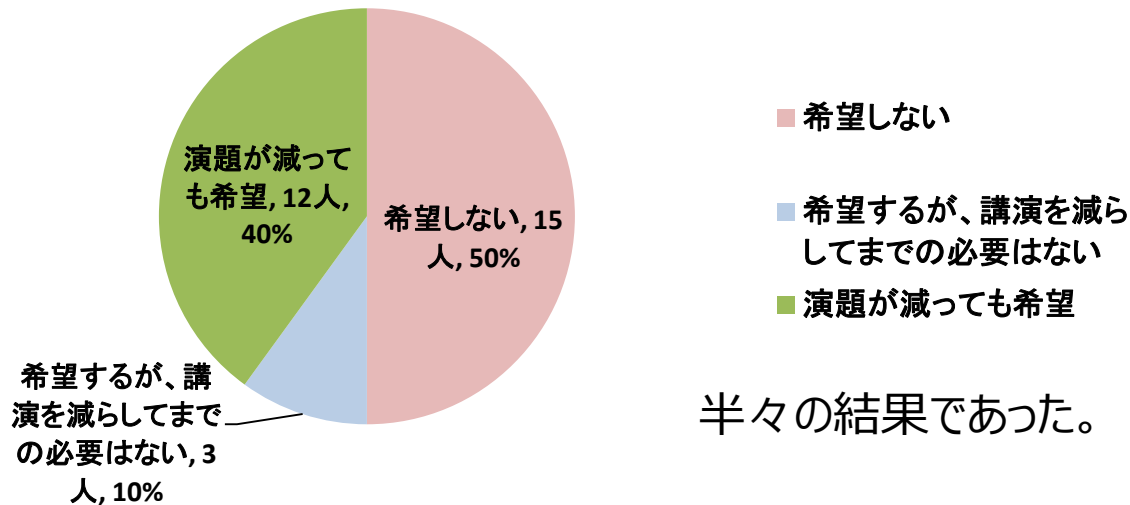


2日目も何か実施して欲しい理由

- ・何もないのは時間をもったいない。
- ・ショートプレゼンの後のディスカッションを2日目朝食後にやった方がいいのでは？

# 講演以外の催しについて (前回のアンケート結果抜粋)

講演以外に、幾つかのトピックスについて意見交換を行う場（パネルディスカッションなど）があったほうがよいか質問

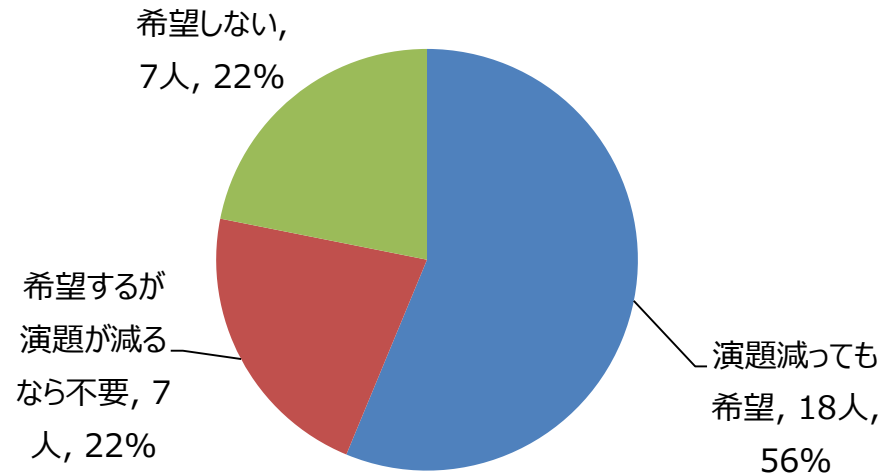


## 希望内容の例

- ・企業の抱えている問題点の討論
- ・欧米の大手製薬会社とのギャップについて
- ・プロセス化学に対する各社の取り組み、ポリシーの違い
- ・最新のレギュレーション動向、医薬開発の進め方およびプロセス化学に求められるものなど
- ・GTI管理、QbD対応、SM戦略、申請戦略など、最新の規制対応について

**これを受けて、ショートプレゼン/グループディスカッションを企画**

# 新企画（懇親会での話題提供）について



## 世話人としての感想

ショートプレゼンの企画自体は好評であり、一定の評価は得られた。一方で、その後のグループディスカッションの運営面に課題を残した。本企画を継続する場合、より深く議論できるようなアレンジが必要と感じた。

参加者からのコメント（参考になる部分を抜粋）

ショートプレゼン自体は良かったが、その後のディスカッションが実質的にはあったようななかったような感じだった。意見交換の規格は良かったと思うが、ショートプレゼンの後、グループに分かれてディスカッションする時間があつたほうが良かった。食事をしながらディスカッションをする、という設定であつたが、食事のお膳もあり、対面の人との距離が遠く、話しにくかつた。参加者が議題を提供するのが良いと思います。ただし、議論する時間があまりなく、十分な回答が得られなかつた。意見交換のセッションは、改めて設定しなくても夕食や懇親会で話をする内容かと思うので、演題数を1つ増やして欲しい。本企画は中途半端な気がした。もし継続するならば、グループディスカッションのような時間をしっかりと設けた方が良い。

# その他コメント（参加者の方から）

①簡単でいいので自己紹介の時間を設けて頂きたかったです（所属，担当業務，興味のある話題など）

②少人数ということもあり、普段の学会より踏み込んだ形でいろいろと他社の方と話をすることが出来た良い機会でした。

③このプロセス化学ラウンジにおいて、通常の学会等とは比較にならないほど多くの貴重な情報が得られたことや同業者の方々と大いに親睦を深めることができたことを上司に報告しました。弊社は今後も引き続き、未参加者を順次参加させていく方針ですが、出来れば自分も、既に数名おられるリピーターの方々と同様に、次回以降も参加できればと思っています。

④大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。意見交換会の取り組みは、とても良いと思います。個人的にはすべてのトピックに興味があり、参加出来なかったトピックでどのような意見が出ていたのか気になりました。何かダイジェスト版で共有させて頂くことは出来ないでしょうか？各トピックの幹事の方のイントロ資料に、当日のコメントやメモを記入して頂いたものを共有させて頂けないでしょうか？

⑤意見交換のきっかけとなるショートプレゼンは非常に良かったです。ただ、意見交換会の場所が宿泊の部屋になると、なかなか就寝できなかつたためこれに対する改善はお願いしたいです。



# 経費について

科目	摘要	金額
(A)収入	参加費	603,000
	(内訳)	
	¥18,000×33名(一般) 小計 ¥594,000	
	¥9,000×1名(学生) 小計 ¥9,000	
	利息	12
収入合計		603,012
(B)支出	宿泊・研修代(@¥5,000×40名・@¥4,300×1名)	204,300
	夕食時(お刺身代) 魚崎商店	32,400
	夕食時(飲み物代) 熊野商店	24,260
	懇親会・休憩時間(飲み物・おつまみ) カクヤス	25,709
	12月2日お弁当代(@¥1,000×40名)	40,000
	講師謝礼・交通 宿泊 等(2名) ※源泉徴収含	94,665
	化学工業日報社委託費一式	162,000
	振込手数料(3件)	1,188
支出合計		584,522
(A)-(B)		18,490

※収支の結果、18,490円のプラスとなりました。

# 今後への提案

講演は、プロセス開発、フロー化学、全合成など広い分野で行われ、参加者からも好評を頂いた。

今後期待する内容としては以下のような意見を頂いた。

- ・スケールアップ時のノウハウ、トラブル事例紹介等の製造技術的な話
- ・製造受託メーカーに希望すること（特殊設備、特殊技術、コスト等）。
- ・製造受託メーカー選定条件。製造受託メーカーランキング。
- ・申請戦略
- ・知的財産戦略

場所、時間等は例年通りであったが、特に不満は無かったようであった。